

令和6年 3月定例会

八頂山から海側を望む（令和5年10月）

3月8日から19日まで開催。条例の制定・一部改正が15件、令和5年度補正予算が9件、令和6年度当初予算が12件、指定管理者の指定が4件の40議案が提出。

加えて、最終日に教育長と教育委員の選任が各1件、固定資産評価審査委員会委員の選任3件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件の7件が提出され、全議案が可決された。

また、一般質問では9議員が町政への質問・提案を行った。

目次

- 2P 令和5年度一般会計補正
教育振興交流施設
令和6年度建設へ
- 4P 令和6年度一般会計予算
住民ニーズに
きめ細かい対応を
- 7P 令和6年度特別会計予算
ろ過施設を設置
- 8P 条例の制定と一部改正
- 9P 指定管理者の指定
4件
- 10P 委員会のうごき
 - ・環境政策室を新設
 - ・医療費助成
18歳まで引上げ
- 13P ・議員提出議案
訪問介護事業所支援を県に
・新教育長の任命
・1月臨時会
デフレ完全脱却対策を
- 14P 9議員が一般質問を
- 23P 議員県外研修報告

令和5年度一般会計補正予算

教育振興交流施設整備事業などで

2億8千万円余増額し、125億5千万円弱に

2億8301万円を増額し、総額をそれぞれ25億4866万円とするもの。

主な補正

教育振興交流施設 建設へ

■教育振興交流施設建築
工事監理業務委託料

584万円

■教育振興交流施設建築
工事請負費

5億7139万円

概要は、事業の入札減などや、決算見込みによる減額補正が主なものだが、国の補正予算に伴う国庫補助金等の財源措置を活用するため、令和6年度当初予算から令和5年度での予算措置に切り替えた黒潮町教育振興交流施設整備事業が1件あり、約5億8千万円の増額補正を行っている。これらの歳出に対応するための歳入は、国・県支出金、諸収入及び町債などの特定財源を充当し、基金繰入金で収支の調整を行った。また、翌年度に繰り越して使用する繰越明許費については、補正後の全体では31件、総額14億1930万円を見込んでいる。

可決（全員）

■教育振興交流施設備品
購入費 850万円

前記3件は、大方高校学生寮の機能を有する施設の建築関連費用。

この事業は、国の補正予算に伴う国庫補助金等の財源措置を活用するため、令和6年度当初予算から令和5年度での予算措置に切り替えたもの。

このため、事業実施は令和6年度となるため、併せて繰越明許費の提案をしている。

建物の概要は、RC造3階建、延床面積997㎡。1階に研修室、食堂を予定。



大方高校に隣接の交流施設建築予定地（矢印の先、令和6年3月下旬）